

# 学校給食の民営化、そんなに急いでどうするの

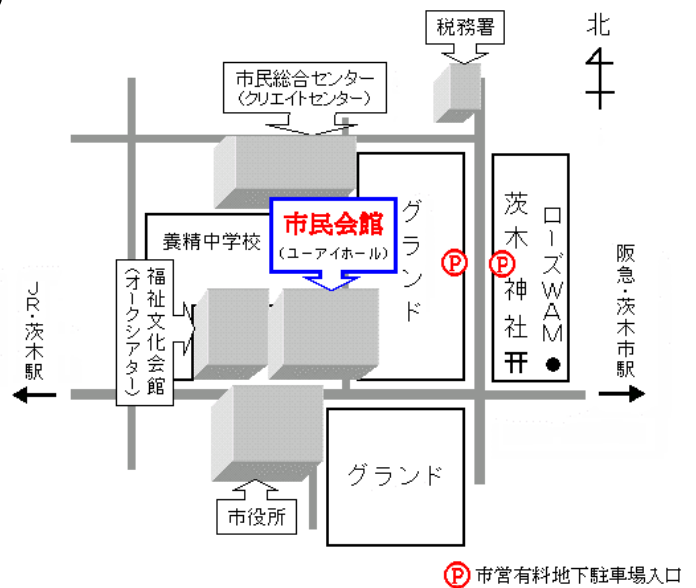
## 現場の調理員さん、 民営化後の堺市 保護者から 生の声を聞いてみませんか

6月30日(土)  
10:00～12:00  
茨木市民会館 第1会議室

茨木市の小学校の学校給食が4月の広報でたった2行のお知らせに始まり、9月から水尾小、中津小での実施へとびっくりする急テンポで進められているようです。

茨木の学校給食は食材に地元産や有機野菜を使ったり、食器洗いも、合成洗剤ではなく、石けんを使用したりと環境にも留意した取り組みを30年かけてしてこられました。

ところが急な民営化でどうなるのでしょうか。現場の調理員さんのお話を聞いてみて、どうしたら、子どもたちが主役の給食になるのかを考えてみたいと思います。ぜひお誘い合わせの上、お気軽にご参加くださいね。



## 学校給食にかける思い

## ～民間委託の問題点を考える調理員の声～

- ◆民営化について、茨木市の財政からみて全く反対ではありませんが、進め方や保護者・市民に対しての説明が不十分だし、私たち現場で働く学校調理員との話し合いも不十分ではないでしょうか？ただ民営化にすればいいという様な進め方、やり方には疑問を感じます。
- ◆市の一方的なやり方にはとても憤りを感じます。生きていくための基本『食』を人まかせにしていいのですか？
- ◆民間への業務委託の話が持ち上がり、あっという間に決まってしまう、とても戸惑っています。私たち調理員の日々の経験の積み重ねや、技術、食中毒を発生させない衛生面によって、子どもに安心して安全な給食を食べさせることができると思っています。民間業者に安心して安全な給食が作れるのでしょうか？子供に美味しい給食を食べさせることは「食」への関心を持たせることができ、とても大切なことです。経費削減の理由だけで民間委託化は危険ですし、それだけで片付けられる問題ではないと思います。子どもにとって学校給食がどうあるべきか一緒に考える時がきているのではないのでしょうか？

◆私は子どもたちへの給食を、いつも「自分の子どもたちへの食事」と考えながら、「どうしたら残さず食べてくれるだろう」「どうしたら楽しい給食の時間を過ごしてくれるだろう」と思い調理しています。委託業者とは違い、子どもたちをお客様の考えで見せていません！

見た目の華やかさでバイキングしたり、経費を削ってまで給食を作ることで本当に子どもたちの食の安全が守れるのか不安です。

「同じメニューだからいいじゃないか」で果たして良いのでしょうか。食育推進が言われる中、給食委託は世の中の流れに逆らっているのです。

給食は子どもたちを育てています。給食への情熱と責任感をもつことが、代々先輩方から受け継いだ私たちの誇りでありプライドです。この思いが本当の食育だと思います。

◆なぜこんなに急いで民間委託をするのでしょうか？

「食育」の中でこれから未来ある子どもたちを育てていくためには、もっとも現場や保護者たちと話し合いを重ねなければいけないと思います。民間に委託するのにあまりにもお粗末な内容で、本当に「食」の中身や作る側の思いなどが分かっているのでしょうか？

現場にたずさわる人間の考え方ひとつで給食の味はおどろくほど変わってきます。そのことが今回の委託に関わる教育委員会の姿勢でまったく触れられていないのが気にかかります。それは「食育」の軽視に他ならないのではないかと感じてしまいます。



## 「学校給食法」では

学校給食は国が定めた「学校給食法」という法律にもとづき学校教育の一環として行われています。

その「学校給食法」第二条には、義務教育の場である諸学校の教育の目的を実現するために給食活動を実施するものとし、

- ①日常生活における食事について正しい理解と望ましい習慣を養うこと
- ②学校生活を豊かにし明るい社会性を養うこと
- ③食生活の合理化、栄養の改善および健康の増進を図ること
- ④食糧の生産、配分および消費について正しい理解に導くことという学校給食の目的ははっきり示されているのです。

ところが、給食活動の現場環境や予算などを決定する行政の側にはこういう認識は薄くて、給食は学校運営の中の「雑務」にすぎず、地方財政の予算削減対象としか捉えられていないのが現状だと思います。

国が定めた「学校教育の一環としての給食」を「安上がりなお. 昼ご飯」として民間業者に委託していくことは衛生面からも安全面からも問題があり、法律にうたわれている教育的な側面を削り落とす行為だと言わねばなりません。

私たち調理員は、これまで安心・安全で楽しい給食に創意工夫しながら取り組んできましたし、これからは素材を選ぶ段階から「民間委託」に負けない内容の給食づくりを目指していきます。ことは子どもたちの口に入るものに関わる大切な課題です。どうか家庭・学校を一本の線でむすんだ給食活動にご理解とご協力をお願いいたします。



## 学校給食民営化に はてな？の会

連絡先 伊藤(072-625-7951)、松本(625-3057)、山下(635-6680)